

全国金魚すくい選手権 選手の皆様へ ～ルールと注意事項～

選手の皆さん
は必ずご確認
ください。

☆服装や事前準備

- 選手は大会終了まで必ずゼッケンを胸と背中中の2カ所に付けておいて下さい。
- 団体戦キャプテンの方はキャプテンマークつきのゼッケンを着用してください。
- 選手は整列中から体育館シューズもしくはスポーツシューズを着用して競技してください。
- つばのある帽子は好ましくありません。かぶる時はつばを後ろにしてかぶってください。
また、周囲全てにつばのある帽子や、かぶり物の類は脱いで競技してください。

☆競技前

- 選手は、必ず競技開始10分前の招集コールに集合してください。
- 選手の配置は、別図「選手の配置について」を参照してください。
- 選手はプラカードの誘導に従って水槽へ入場し、競技終了後も誘導に従って退場して下さい
- ポイは1分以内に選んで下さい。
- ポイを選んだ後、競技が始まるまでの間は、水槽に身を乗り出して影を作ったりしないで待機しておいてください。

☆競技ルール

- 競技は、1人1枚のポイで3分間に何匹すくえるかで競います。
- 必ず片手で競技を行い、もう一方の手でボールに触れてはいけません。
ただし、ポイの持ち手を替えてもかまいません。
- ポイは柄の部分を持ってください。円の部分を持ってはいけません。
- 水槽の壁面を利用してポイで金魚をすくい上げる行為をしてはいけません。（壁すくいの禁止）
- ポイを水面から完全に上げずに金魚をボールへ流しこんではいけません。（流しこみの禁止）
- 競技中に、肘関節を水の中につけてはいけません。
- 団体戦においては、ポイは自分のポイ以外を使用してはいけません。また、他の選手を助ける行為をしてはいけません。

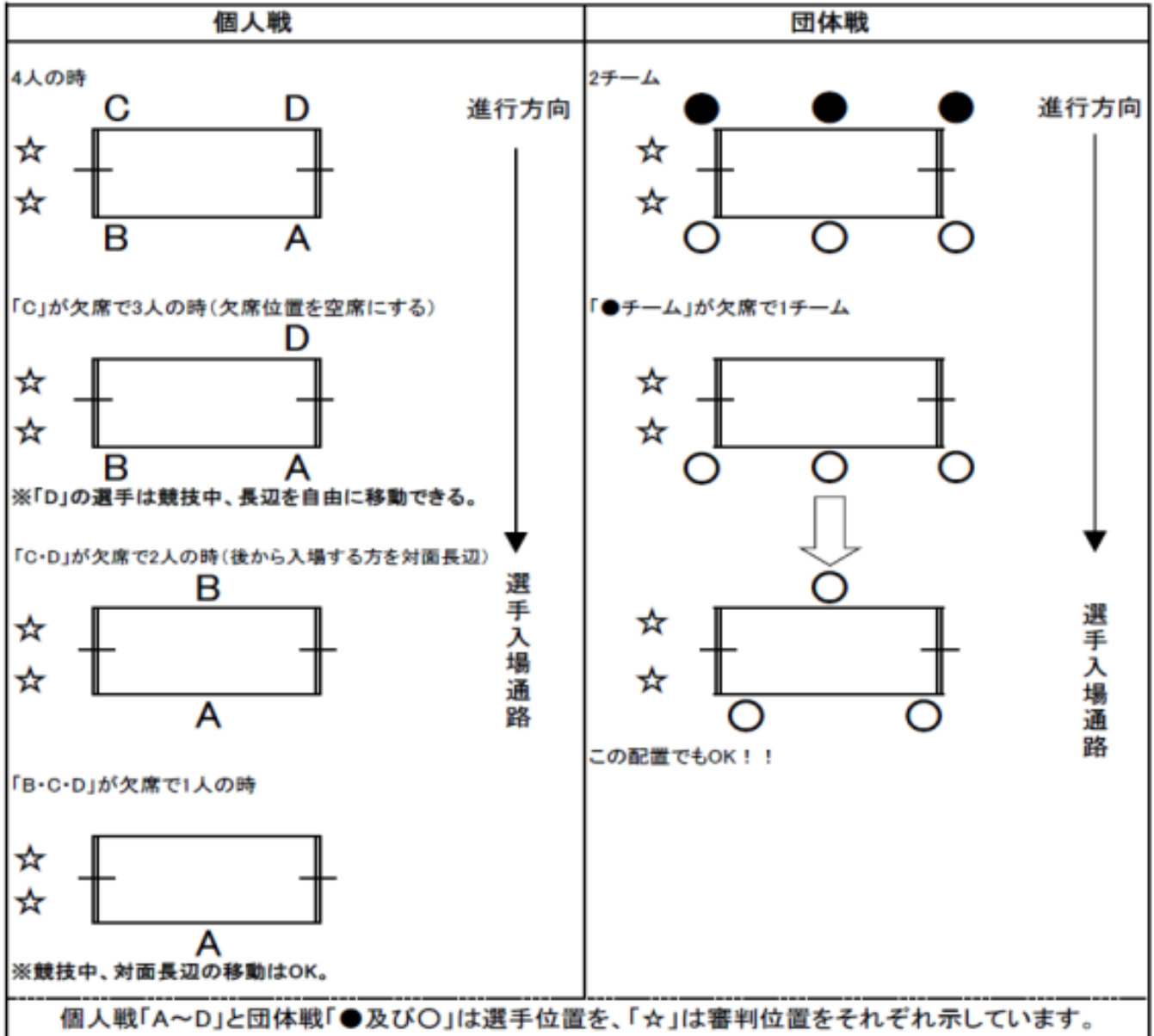
☆判定

- 競技中に反則行為を繰り返す場合、3回目をもって競技の停止を宣告します。
- 反則行為、又は著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた選手は、直ちに競技を終了しなければいけません。審判員に対する暴言等の威嚇的行為については競技停止とします。
- 競技時間内であってもポイが使用不能になった時、又は競技の停止の宣告を受けたときは、その選手は競技を終了しなければなりません。
- 反則行為によってすくった金魚は計数しません。

☆マナー等

- 選手は常に金魚すくい技術の向上につとめるとともに動物愛護の精神を涵養し、金魚に愛情をもって接するようにしてください。
- 競技中に大声を出したり、談笑したり、他の選手の集中力を妨げるような行為をしてはいけません。
- 選手は必ず審判の判定に従って下さい。
- 貴重品は、各自で管理して盗難には十分注意して下さい。

選手の配置について



- ・個人戦、団体戦ともに、水槽の短辺（上図中、二重線部分）に移動することは不可です。
- ・コーナーまで移動することは可能ですが、水槽の短辺中央にテープを貼っていますので、そこから身体がはみ出さないようにして下さい。
- ・各水槽において、個人戦では1人、団体戦では1チームのみで競技を行う場合のみ、水槽対面（長辺）への選手の移動は可能です。
- ・個人戦で、隣の選手が不在の場合は、水槽長辺の移動は自由です。
- ・競技開始前に、水槽に乗り出し、影を作っちゃいけません。